

恵庭市中小企業振興審議会（令和元年度 第1回） 会議録

○日 時 令和元年10月31日（木）13：30～14：30

○場 所 恵庭市役所 第1委員会室

○出席者 成田委員、竹内委員、三浦委員（代理出席）、高橋委員（副会長）、立花委員、
酒井委員、山出委員、今泉委員、松本委員 計9名

○欠席者 黒田委員（会長）、伊藤委員、加藤委員 計3名

○事務局 近藤経済部長、渡邊経済部次長、山口商工労働課長、藤井商工労働課主幹、
小路花と緑・観光課長、西中農政課長、吉成商工労働課主査、恩田商工労働課主事
計8名

1. 開 会

本会議は、恵庭市中小企業振興基本条例第11条の規定により、委員の過半数の出席により成立することとなっている。本日は委員12名のうち、過半数を超える9名の出席をいただき、委員の過半数を超えていることから、本会議は成立する。

2. 委嘱状交付

人事異動等により、委員のうち5名（うち1名欠席）が変更となっていることから、経済部長より委嘱状を交付する。なお、任期は前任委員を引継ぎ、令和3年2月1日までとなる。

～経済部長より、欠席者1名を除く4名に委嘱状を交付～

3. 副会長選任・挨拶

今回の委嘱により、これまで副会長であった委員の変更があり、任期途中の変更であることから、その後任である高橋委員を副会長として選任することとなった（一同異議なし）。

～高橋副会長より、開催にあたり挨拶～

4. 議 事

(1) 専門部会での事業アイデアの検討結果について

（事務局より説明後、審議）

A 委員

藤枝市と連携して開発した商品等については、駅まちプラザでも販売しているが、認知度

が上がらない内に撤退、製造中止しているケースがあるのはなぜか。また、道の駅の販売スペースが変わり、これまで取扱いのあった特産品の枠が狭まり、特定の企業の商品しか扱っていないのはなぜか。

事務局

道の駅については、今年の4月に管理・運営事業者が変更となり、11月～翌2月にかけて改修工事を行い、グランドオープンは今和2年3月若しくは4月を予定している。今年度は暫定的に営業しているといった状況であり、今後の改修工事の中で販売スペースの確保についても検討している。

A 委員

これまで取扱いのあった商品を再び取り扱う保証はあるのか。

事務局

今年4月以降、同様の意見を多くいただいたことから、7月中旬頃に一時的に販売スペースの拡大を行っている。次年度のグランドオープンに向けて、市内の特産品や農商工等連携推進ネットワークの開発商品などの取扱いについて、管理・運営事業者との協議を進めているところである。

A 委員

市内の特産品については、継続的に取り扱っていただくようお願いしたい。

事務局

開発商品について、原料が手に入らないなどの事情で製造を中止したケースもある。現在、製造しているものについては継続的な販売を行うため、アンテナショップである駅まちプラザを含めて協議していきたい。

農商工等連携推進ネットワークの会員に道の駅での販売意向の調査も行っており、マッチングの部分については、市でも協力させていただく。

B 委員

専門部会でのアイディアの中で、駅まちプラザは「立地的に厳しい」という意見が出ているが、具体的にどのような面で厳しいのか教えていただきたい。

事務局

恵庭駅前の再開発ビルの一角に店舗があるが、駅とビルを繋ぐ動線上からは外れており、駅利用者の目に止まりにくく、集客に繋がっていないのではという意見をグループワークでいただいている。

B 委員

病院のように案内板を設置する、床に矢印を表示するなど方法はあると思うが、そのような工夫はこれまでしてこなかったのか。

事務局

駅とビルを繋ぐ動線（空中歩廊）が市道の扱いとなり、掲示物の設置などが難しいという状況にある。また、ビルの管理会社は民間事業者であり、掲示物の制限もされていることから、効果的な集客策を講じることができていないという現状である。

B 委員

個人的には立地的にとっても素晴らしいと感じているので、各所に働きかけを行い、効果的に活用できる方法を検討していただきたい。

また、複数の事業を絡めて行うことで集客率は上がると思うので、ご検討いただきたい。

C 委員

起業支援については、様々な自治体で行っていることと思うが、起業以外の分野と絡めて恵庭独自のスタートアップ支援などを行う予定はあるか。

事務局

起業支援と他分野の事業との関連性については、起業支援事業補助金では、補助金交付の要件として、「商工会議所に加入する」や「農工商連携推進ネットワークに参加する」などを設けていることから、起業した方が新たな商品開発にチャレンジするなど、他分野への波及効果を意識した取組は既に実施している部分もある。今後は更に広げていくことも検討したい。

C 委員

首都圏シティセールスで、観光に限らず、恵庭全体の魅力発信に繋がるようなセールス方法とあるが、具体的にはどのような方法を想定しているのか。

事務局

全庁的な取組として「シティセールス検討委員会（庁内・外部）」を立ち上げ、「ガーデンシティえにわ」のブランド化、昨年度は電車の中吊り広告などで「恵庭市」の名前を周知するという取組も行っている。経済部事業だけでなく、全庁的な様々な取組を総合的に発信していくことが重要であるとの意見をグループワークでいただいた。

C 委員

市民参加型・えにわ版マルシェ推進事業について、「やさしいモノづくりやまちづくり」とは具体的にどのようなことか。

事務局

グループワークの中で、現在のマルシェの参加者は手芸を趣味的に行っている方が多く、様々な施設（障がい者施設など）とのコラボや趣味から発展して起業に繋がられるよう、市として支援してみたいか、という意見をいただいたことから記載している。

C 委員

花の拠点整備事業について、事業の課題として「駐車場の混雑解消」を挙げているが、個人的には指定管理者が変更となったことにより、これまで地域の皆様に愛され親しまれてきた施設が少し離れていっている印象を受ける。今後、観光やシティプロモーションの拠点として位置付けるのであれば、この部分は課題となるのではと思われる。

また、関連して恵庭の課題として、宿泊施設やホスピタリティの部分も課題となってくると思うので、この部分も今後戦略の中に位置づけていただければと思う。

A 委員

恵庭駅前通りに住んでいるが、夜間とても暗いと感じる。恵庭のメインストリートである部分が暗いとイメージが良くない。改善していただけないか。

事務局

駅前通りは道道であるため、北海道に要望させていただく。

A 委員

まちを明るくすることは、まちを繁栄させる一つのきっかけとなると思う。よろしく願いしたい。

D 委員

恵庭に移住してきた方を対象に、「なぜ移住したのか？」などのアンケート調査はこれまでに実施しているか。

事務局

所管部署が企画振興部となるため、明確な回答ができない。しかし、一般的に言われているものとしては「住みやすい」、「教育環境が良い」、「働き場所もある」、「交通の便が良い」という点が挙げられる。

D 委員

所管は企画振興部とのことだが、アンケートを実施した際には、広報やホームページなどで結果を公表してほしいと思う。

事務局

所管部署に共有させていただく。

D 委員

イトーヨーカドー撤退後の跡地利用について、何か進展はあるのか。

事務局

民間事業者の所有となるため、市として照会はしているが、現在までに回答がない状況である。

5. 報 告

(1) 中小企業に対するアンケート調査の実施について

(事務局より説明)

令和 2 年度が、本計画の改訂の時期となっており、市内の中小企業の現況を計画に反映させるため、計画の改訂に先立ち今年度実施している。調査は恵庭商工会議所に委託し、7 月に実施・回収を行ったが、回収率が悪く 9 月にも再送した。商工会議所会員企業とリサーチ会社のデータを基に 1,481 件の企業に送付し、367 件の回収、回収率が 24.8%となっている。現在、集計作業を行っており、年内に報告書が提出される予定であり、次回の審議会・専門部会でも結果を報告させていただきたい。

アンケート内容は別紙のとおりであり、無記名で行っているが、アンケートの最終ページは会議所への相談申込書となっており、希望に応じて相談申込ができる内容となっている。

(以下、質疑)

E 委員

今回実施した調査の活用方法という部分に関して、事業承継への対応については、法的な部分も多く市内の機関で対応するのは難しい。相談ニーズがあった場合は、事業引継ぎ支援

センターや士業専門家などの専門機関に適宜引き継いでいただき、国の施策ともマッチした形で支援できれば良いと思う。

F 委員

国の方針として、今後数年は事業承継支援に力を入れていくと思われる。中小企業総合支援センターでは国の受託事業という形で「プッシュ型事業承継支援高度化事業」を実施しており、それぞれのケースに応じて専門家派遣等も行っているなので、活用していただきたい。

(2) 今後のスケジュールについて

(別紙資料を基に事務局より説明)

6. その他

7. 閉 会

以 上